
ブロードバンドビジネスの未来を担う データセンター

2002年6月26日

株式会社ブロードバンドタワー
大和田廣樹

本日のメニュー

- 1.ブロードバンドは今？
- 2.ブロードバンドにおける課題
- 3.ブロードバンドの使い方
- 4.コンテンツプロバイダーを支えるBBTower

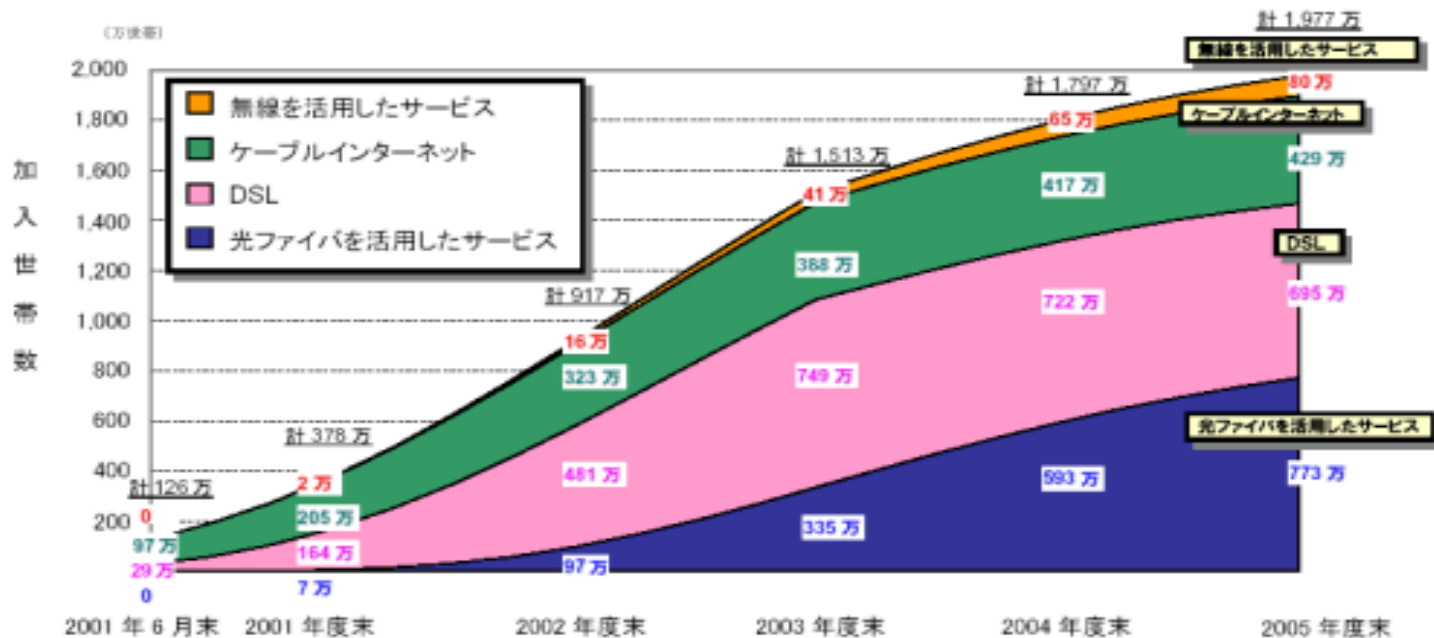
1.ブロードバンドは今？

ブロードバンド市場

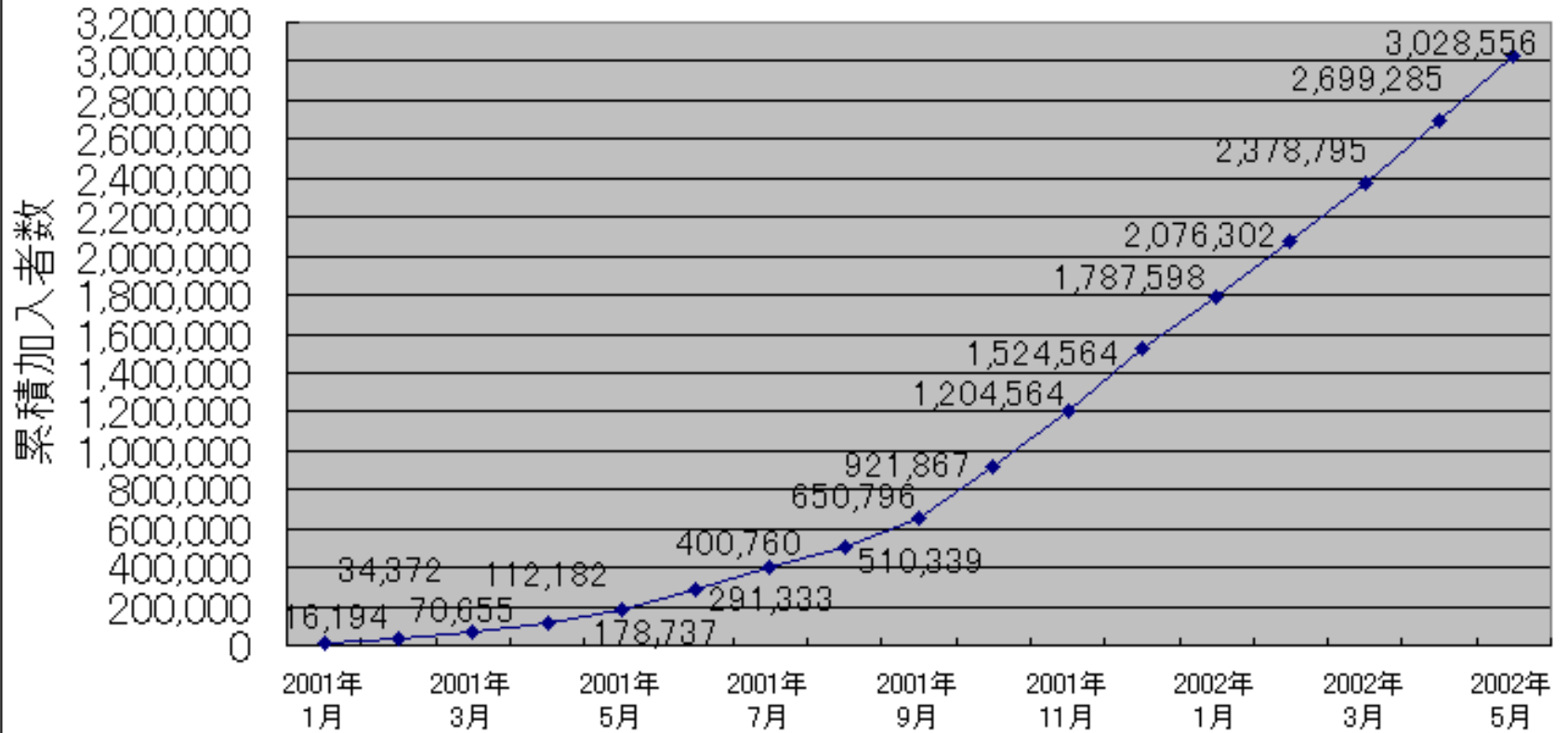
ブロードバンド需要の増大

– 高速・超高速インターネットの普及予測（実加入世帯ベース）

– 出典：総務省総合通信基盤局

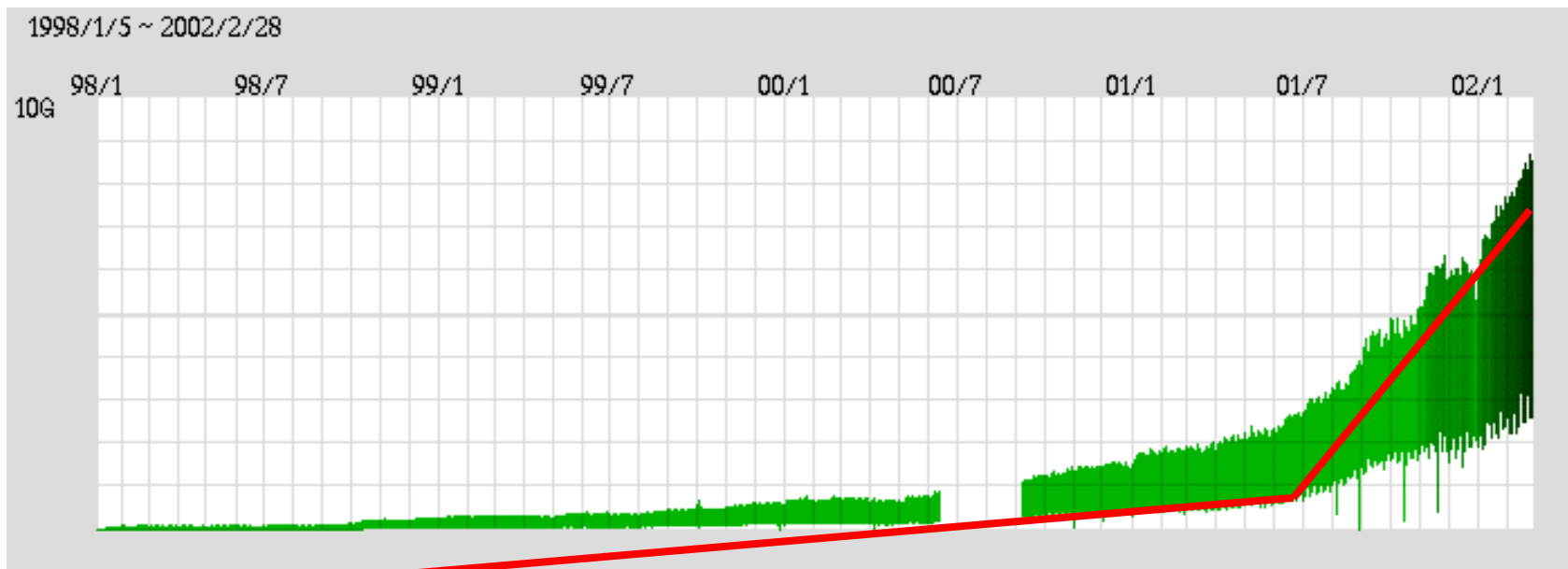


DSL加入者の推移



出典：総務省

JPIXから見るトラフィックパターンに変化の兆し



出典: JPIXホームページ

JPIXのトラフィックは、2001年9月以降の5ヶ月で2倍に！ (毎4G 8G)

Yahoo!BBをはじめとするブロードバンド利用者の急増が原因

2. 多様化するiDCの使い方

(1) ブロードバンドの課題

- ビジネスの課題
- 権利保護の課題
- インフラの課題

ビジネスの課題

- ブロードバンドは儲からない？！
- 小額決済など課金回収の仕組みがほとんどない
- ブロードバンドユーザーが増加しないとビジネスとして成立しにくい

権利保護の課題

- デジタル化されているため不正コピーが簡単にしやすい
- 実際に不正にコピーされているケースも見られる
- DRM (Digital Rights Management) の仕組みの提供

インフラの問題

- 多様化によりどのインフラが良いのかわかりにくい
- まだどこのブロードバンド事業者もユーザー数が少ないのにコンテンツをとりあいの様相がある

(2) データセンターに求めている 事項の多様化

- ブロードバンドのHub的な拠点として
- ストレージやバックアップ拠点として
- ブロードバンドビジネスの入口として

ネットワークのHubとしての データセンター

- 既存の専用線やFRだけで構成されていたものをDSLやFTTHを組み合わせることでコストパフォーマンスの良いネットワークを構築できる

ストレージやバックアップ拠点

- ブロードバンドによって大容量のデータをやりとりできるようになったためストレージやバックアップ拠点としてデータセンターを位置付けるユーザーも出てきた

ブロードバンドビジネスの入口と しての各種相談窓口

- ブロードバンドネットワークの構築
- トラフィック関係(トラブル、負荷分散、解析)
- コンテンツ加工、DRM、配信
- 課金・決済
- セキュリティの確保

3.ブロードバンドビジネスを 支えるBBTower

会社概要

- **新社名** 株式会社ブロードバンドタワー(略称、ビービータワー)
- **英文表記** Broadband Tower, Inc.(略称、BBTower)
- **変更時期** 2002年4月1日
- **本社所在地** 〒163-0510東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル10F
- **資本金** 8億円
- **株主構成**

株式会社インターネット総合研究所	67.58%
アジア・グローバル・クロッシング・リミテッド	16.77%
ソフトバンク ネットワークス株式会社	15.65%
- **役員構成**

代表取締役会長	藤原 洋
代表取締役社長	大和田 廣樹
取締役セールス・マーケティング本部長	後藤 郁子
取締役オペレーション本部長	山本 昌徳
取締役	岡田 智雄
取締役	真藤 豊
監査役	高橋 利之、雲野 康成、河野 文雄
顧問	北爪 正路、二木 均

BBTowerの特徴

● 安定運用

- 「ルータ運用技術」および「サーバ運用技術」のエキスパートが集結するIRIによる安定したインターネット環境

● 大容量ネットワーク

- AGC所有の光ファイバー回線によりグローバルネットワークへ直結

- 国内外の主要IX,主要ISPとのピアリング接続により、世界規模の安定したインターネットサービスを提供

- Meet Me Roomでお客様同士の相互接続も可能

● キャリアニュートラル

- キャリア・ニュートラルビル内にて運用しているため通信回線の規制がなく、引き込みの完了しているキャリア内より選択が可能

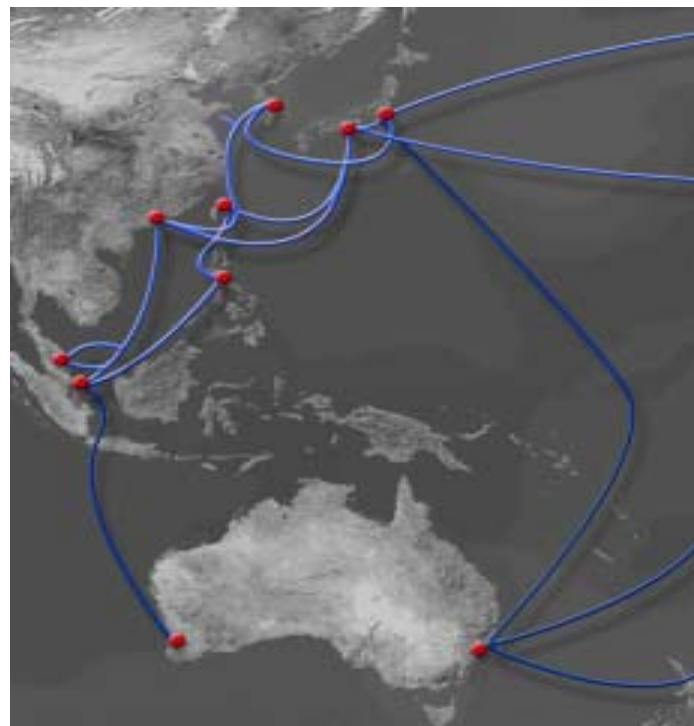
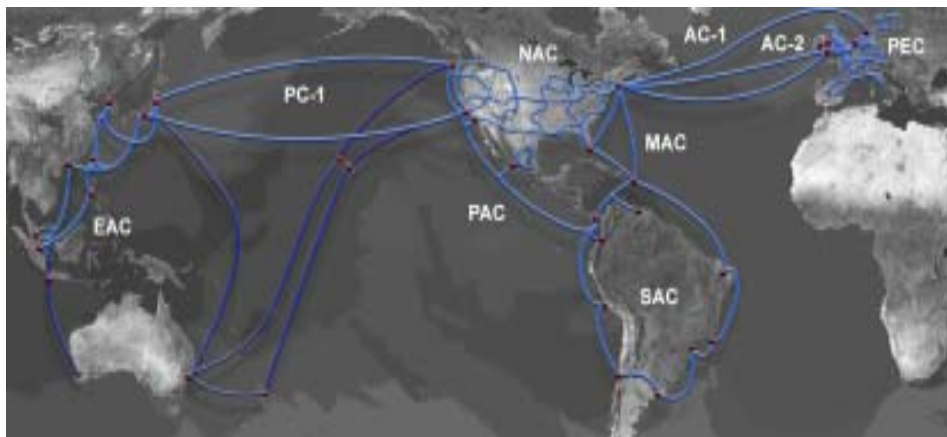
● 好立地(大手町)

- 交通アクセスが大変良く、通信回線の拠点として認知度の高い大手町にて運用



国内外ともにファイバーネットワーク上に存在

グローバルクロッシング, アジアグローバルクロッシングの海底ケーブルネットワーク網



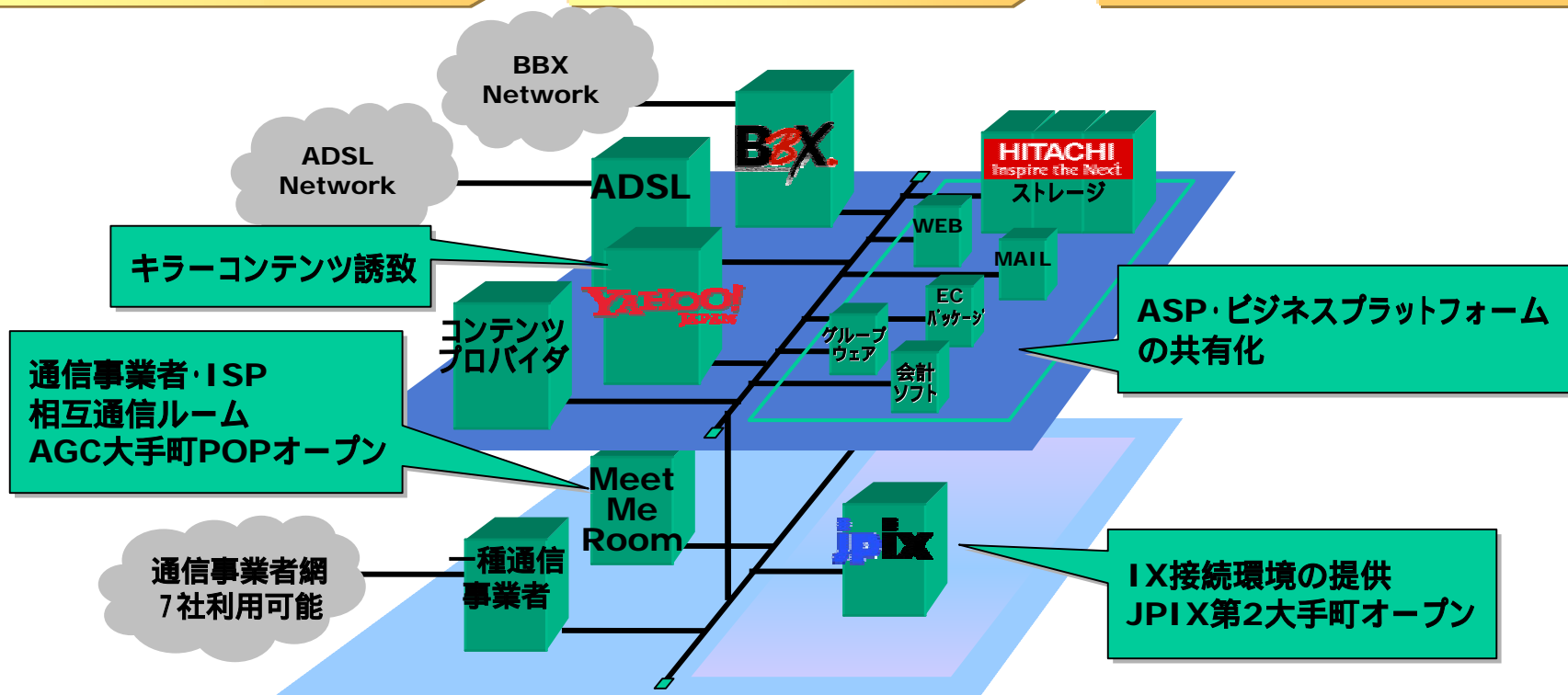
- 日米間は3.5GのIPネットワーク(国内最大)
- 日本より香港、台湾、韓国、中国へ接続完了

現状のデータセンターイメージ図

データセンター・ISP・キャリア・
コンテンツ・ASP・IXが集まる拠点

次世代データセンター事業

最適なネットワーク環境



スペースサービス

プライベートケース

- ◆ スライド式出入り口ドア
- ◆ 3方向のフェンス
- ◆ オープンラック5ラック立架

- 自由にスペースが利用できます
- 自由にケーブリングができます
- コストメリットがあります



最適な環境

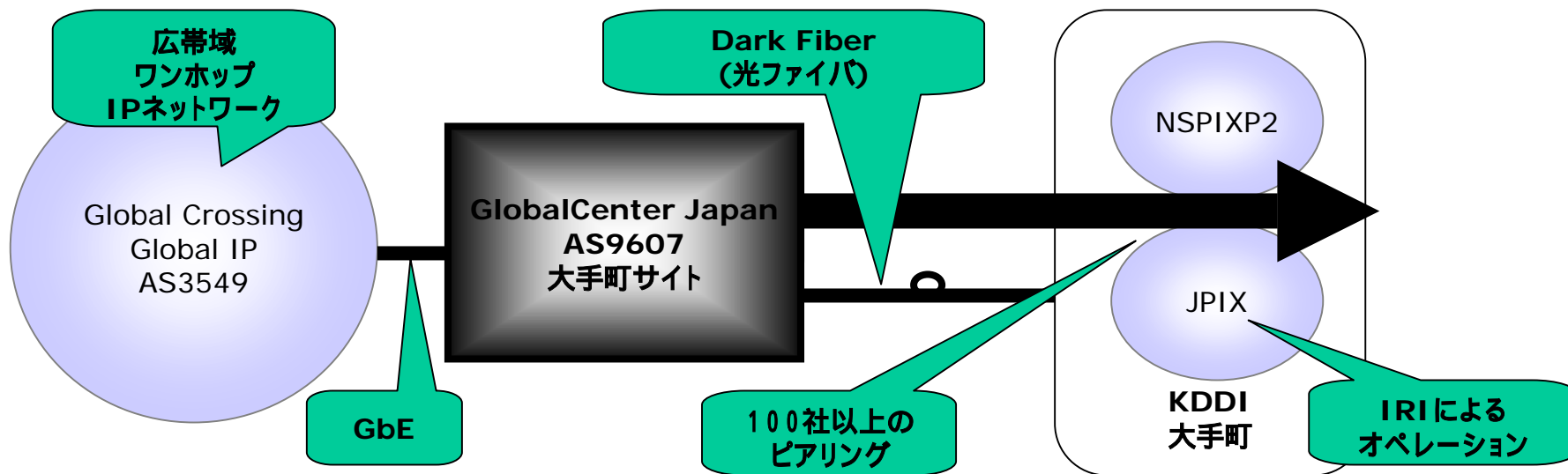


19インチラック

- 前背面扉(個別錠付)
- 有効高:44U
- AC100V20A(2,000VA)/ラック
- 二重化電源

インターネット接続サービス

本邦向けASP：グローバルセンター＋グローバルIP
海外向けASP：グローバルIP

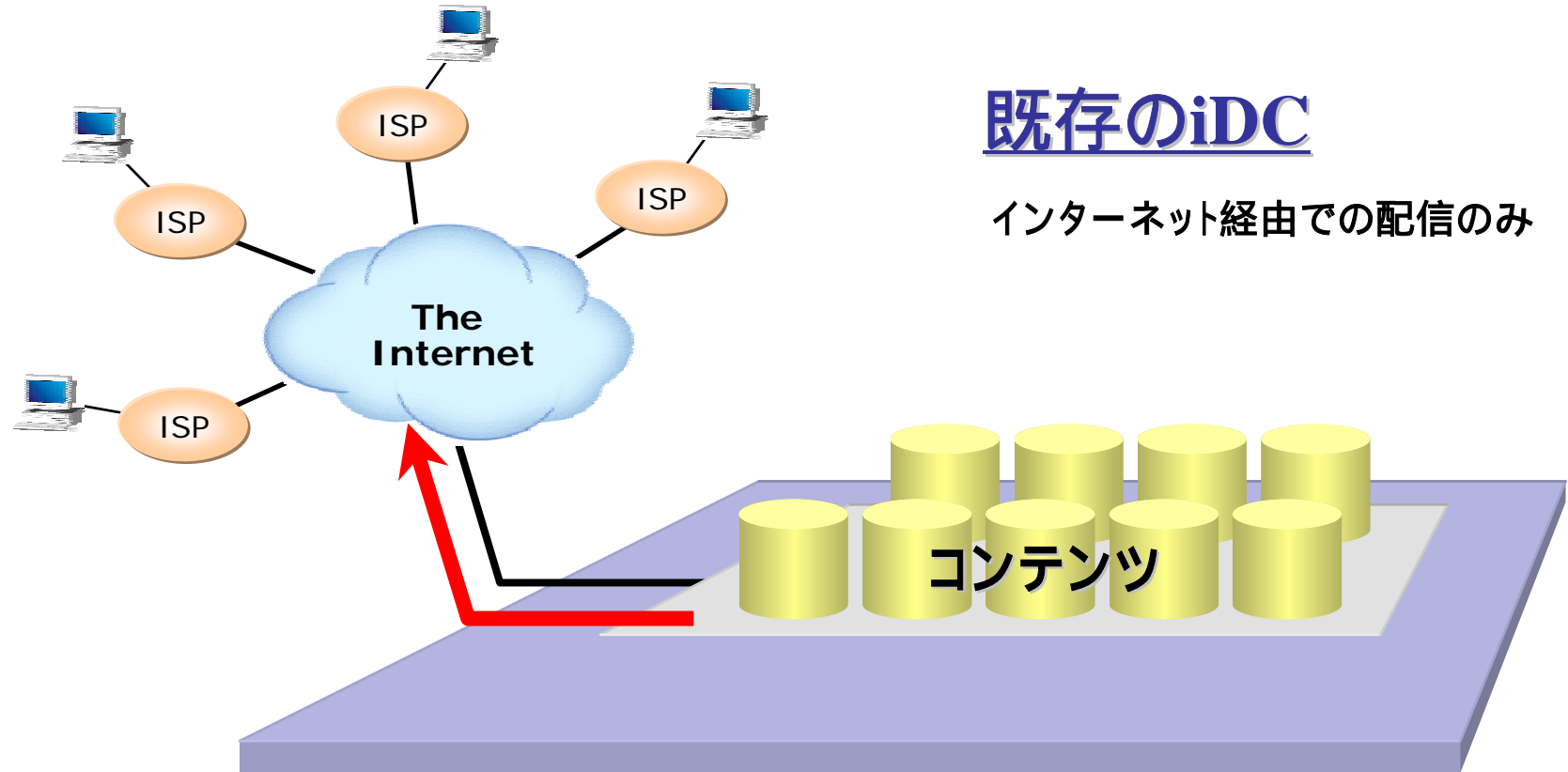


- 物理インターフェース:10BASE-T,100BASE-TX,1000BASE-SX
- 冗長・待機接続サービス(オプション)
- 2系統の物理的・電氣的接続環境
- 95%ルール(定額制・基本帯域＋従量課金制・超過帯域)

既存のiDC

既存のiDC

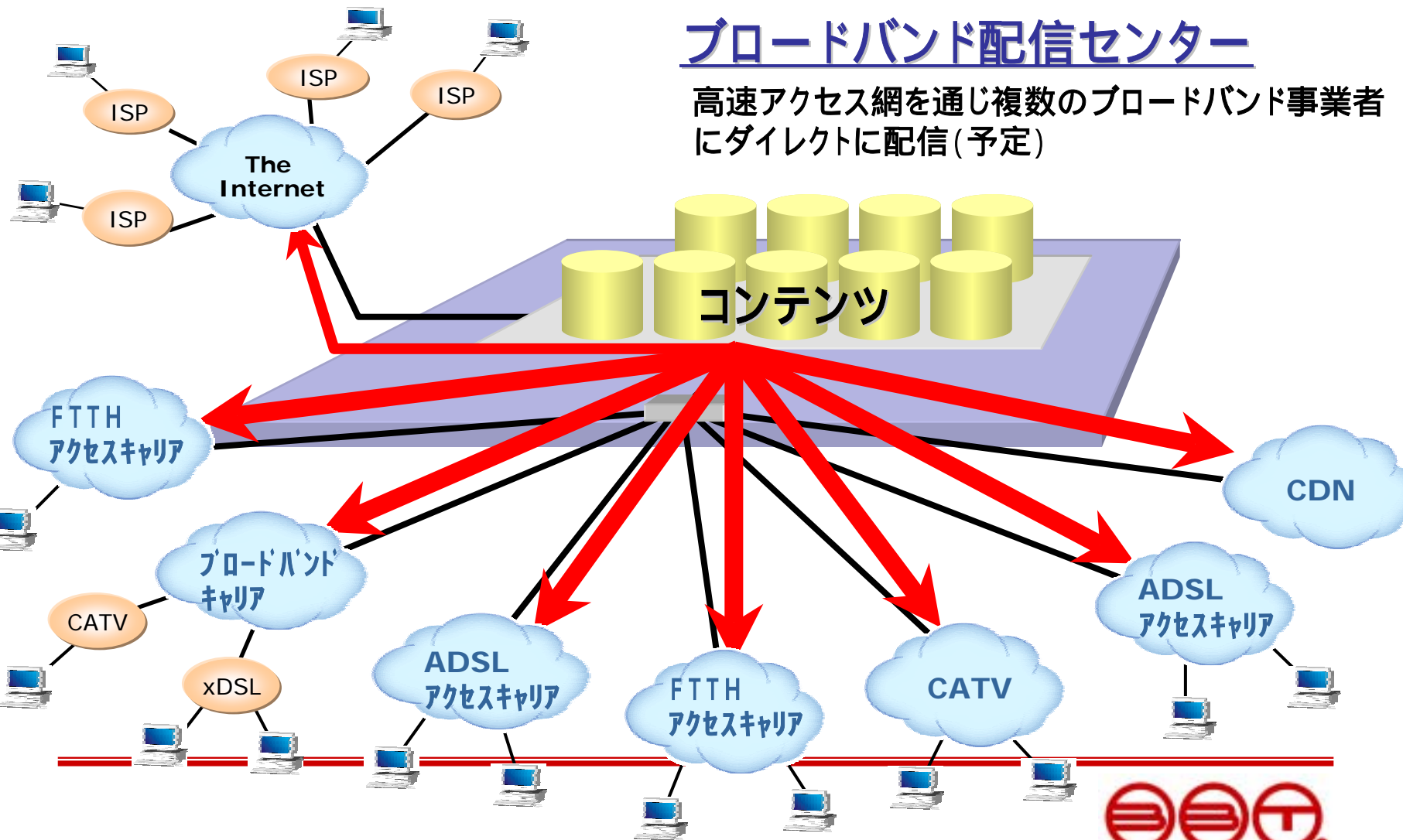
インターネット経由での配信のみ



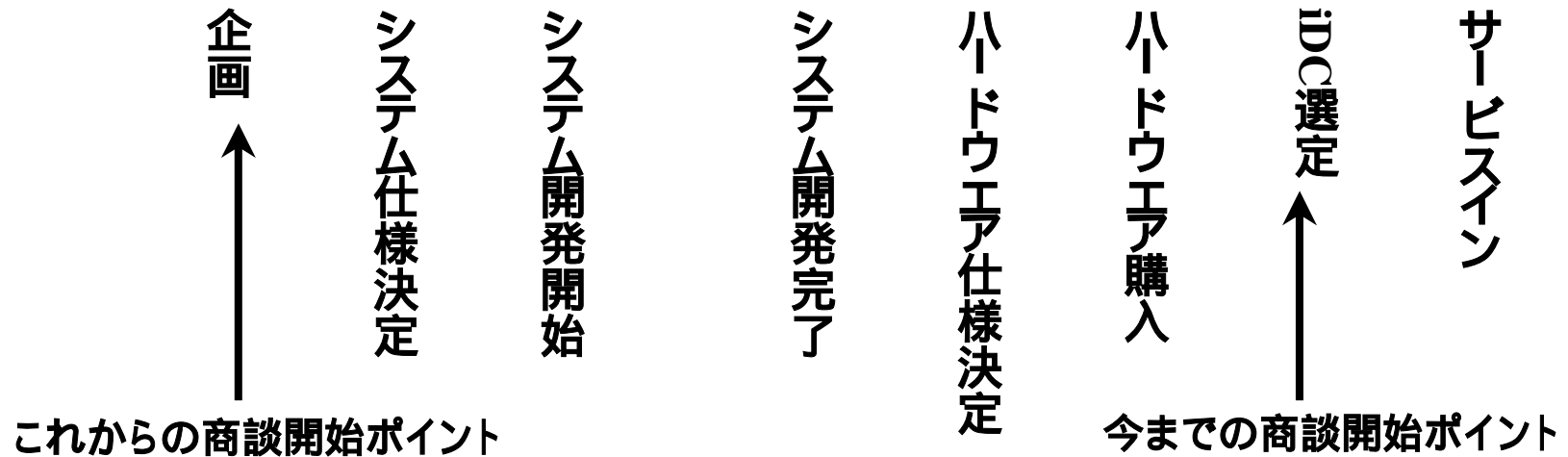
iDCからブロードバンド配信センターへ

ブロードバンド配信センター

高速アクセス網を通じ複数のブロードバンド事業者
にダイレクトに配信(予定)



ブロードバンドタワーのビジネスの切り口



- 顧客のサービスインに近いところで商談が始まるが、BBTowerは企画に近い段階から商談に入れるようなサービス作りをしていく (IRIグループとの連携必須)

グループ連携による、一気通貫のサービス提供

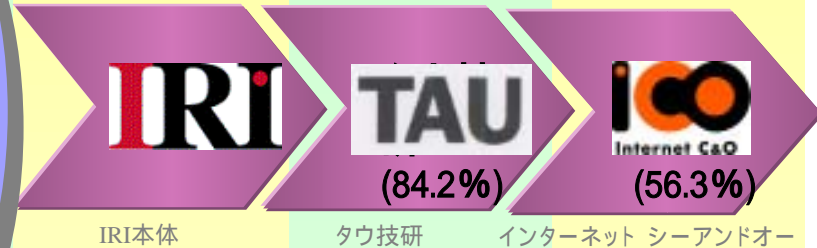
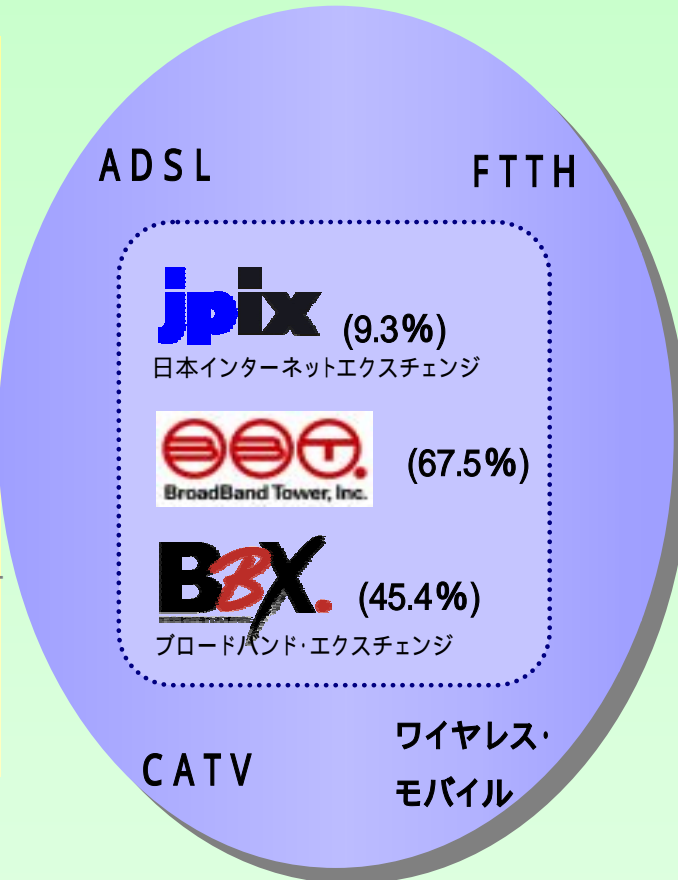
IPネットワークサービスの
マーケティング & 代理店

新たなIPネットワークサービスの創造

IPネットワークの
コンサル・設計・
構築

端末プラットフォーム
開発

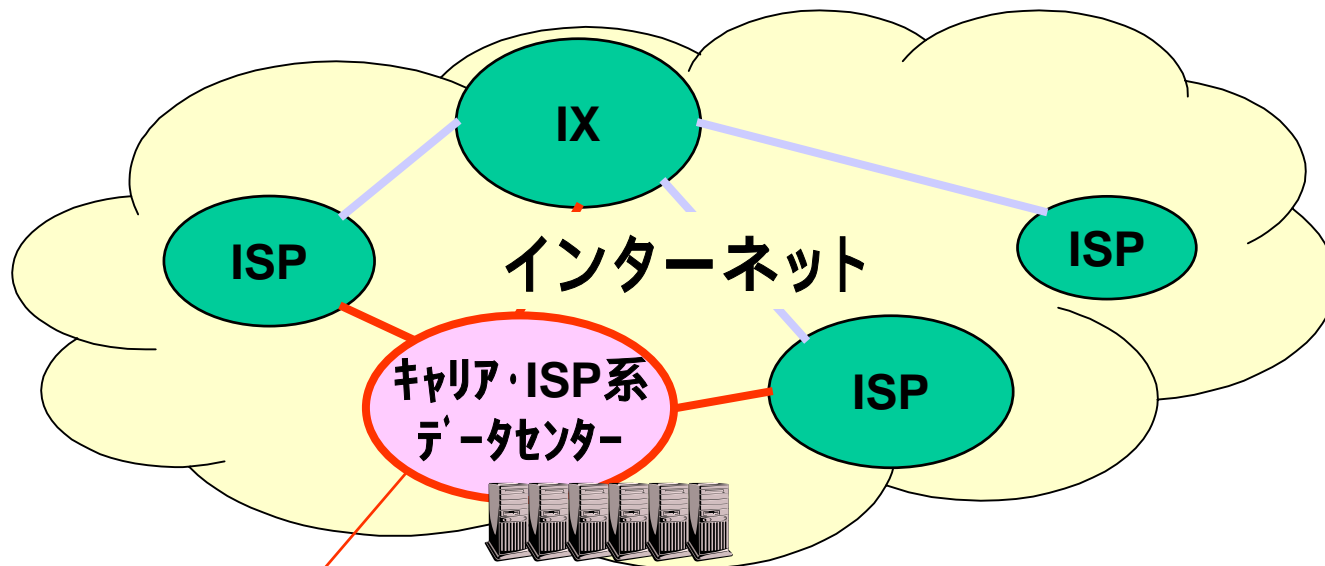
IPネットワーク
の運用・保守



(%) : 出資比率
: IRI本体または子会社

付録：データセンター選定

キャリア・ISP系iDC

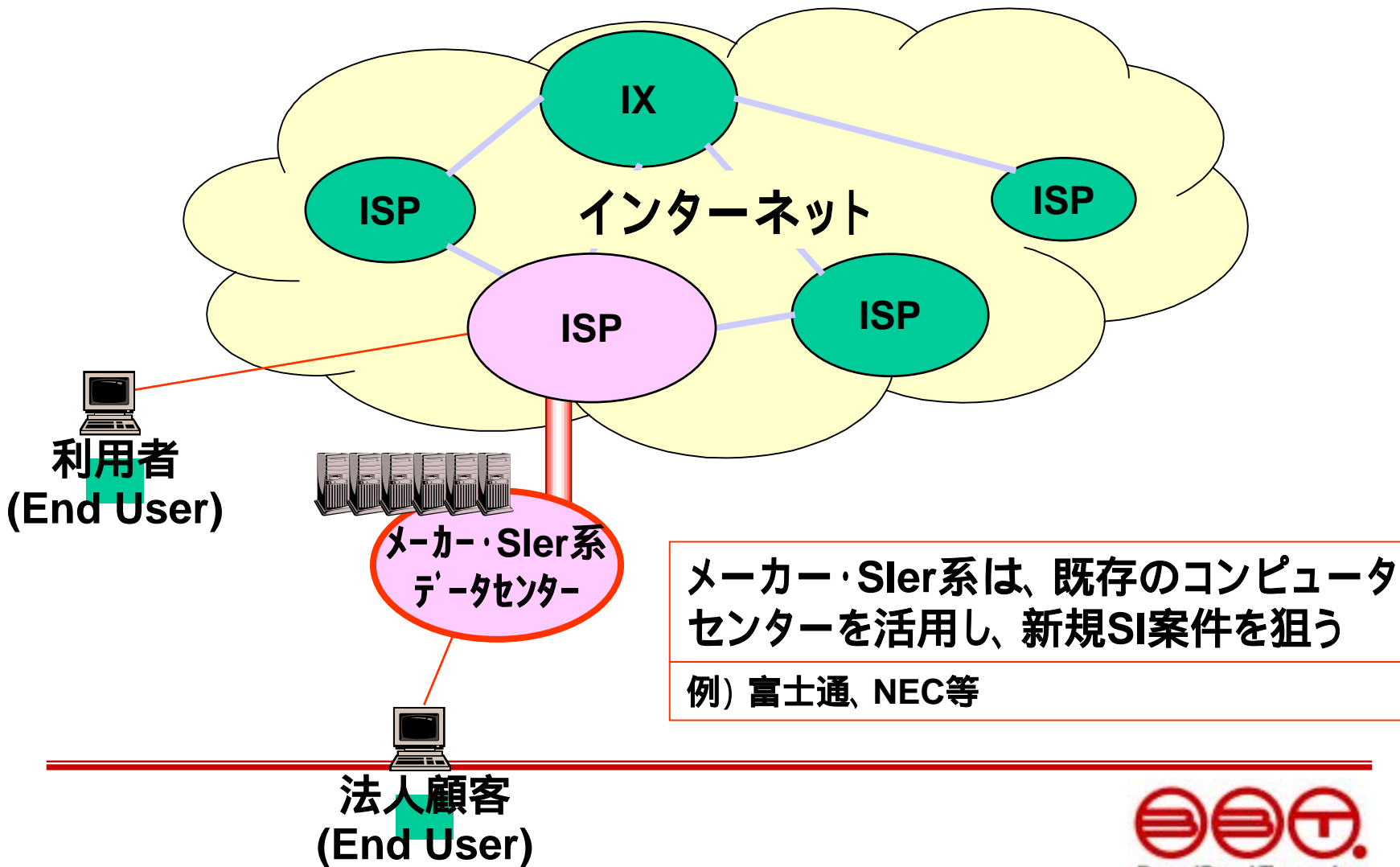


キャリア・ISP利用者
(End User)

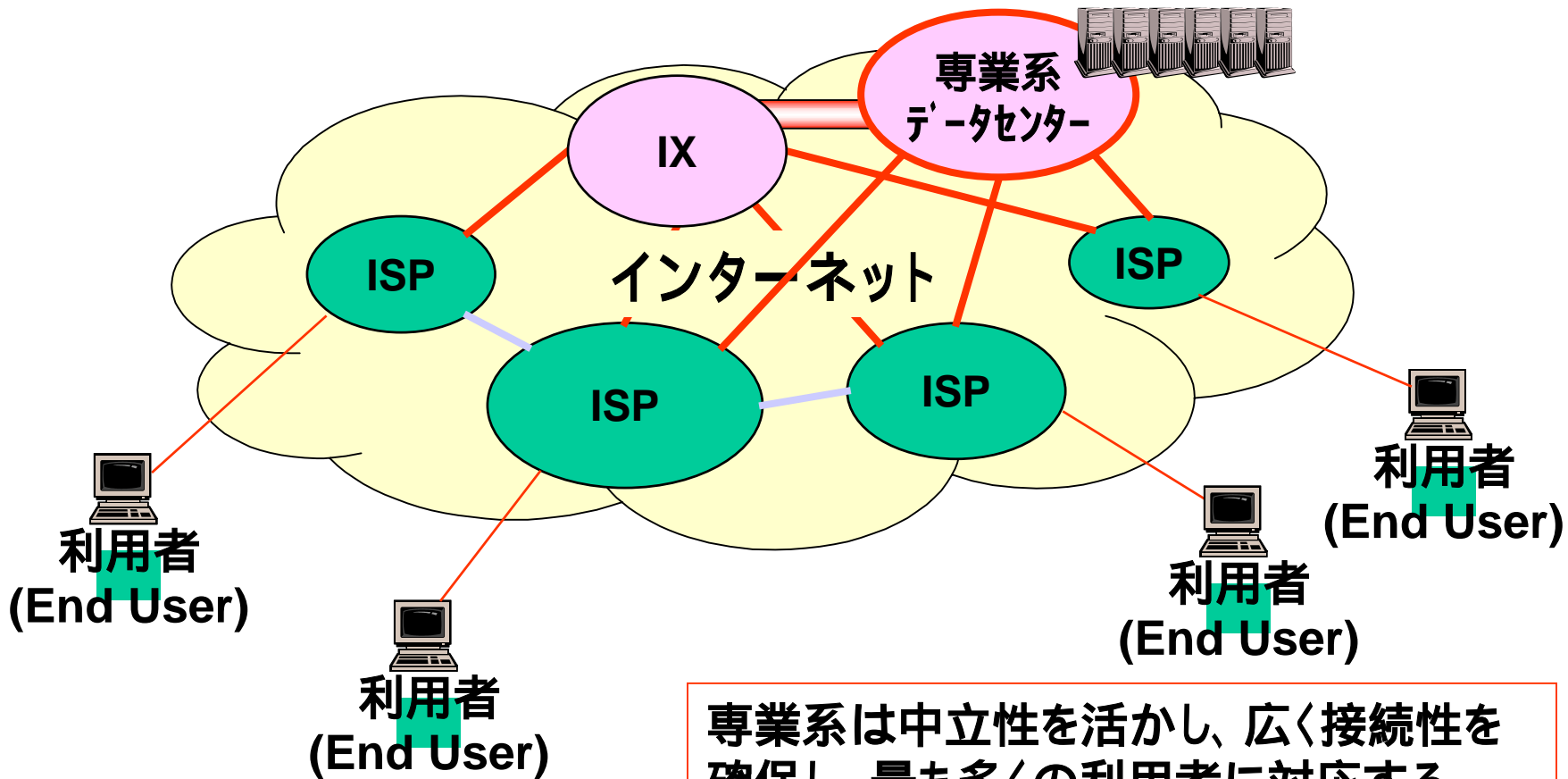
キャリア・ISP系は、自社のISPサービス
利用者(顧客)の囲い込む

例) NTTコミュニケーションズ、日本テレコム等

メーカー・SI系iDC



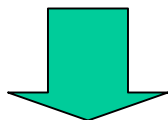
專業系iDC



專業系は中立性を活かし、広く接続性を確保し、最も多くの利用者に対応する
例) ブロードバンドタワー、旧エクソダス等

データセンター選定のポイント

立地条件
ネットワーク状況
運用の安定性、信頼性
利便性(使い勝手)
コスト



BBTowerの総合力に期待ください